

2. 森林・林業再生に向けた貢献

組織、技術力、資源を活用し、低コストで効率的な作業システムの提案や先駆的な実行、民有林と連携した森林整備の実施、森林・林業技術者等の育成、林産物の安定供給等を通じて、北海道の森林・林業の再生に積極的に取り組みます。

(1) 造林の省力化・低コスト化

秋植えの適期が短い北海道の条件に応じた、伐採から地拵えまでの一貫作業システムの試行導入、コンテナ苗や優良品種の導入、大型機械地拵えの拡大等により、造林事業の省力化・低コスト化に取り組めます。また、技術開発の成果について、民有林への普及・定着に資するよう、事業レベルでの実証に取り組めます。

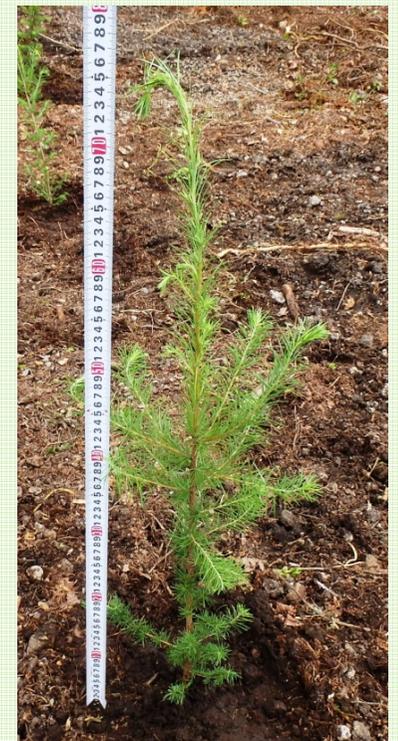
伐採から地拵えまでの一貫作業システムの試行導入



伐採・搬出後に直ちに地拵えを行い作業の効率化と人力作業者の労働強度を軽減に資する造林事業の省力化、低コスト化の取組

コンテナ苗や優良品種の導入

オーガを使った
植付作業



初期成長が優れたクリーンサーチの植栽

2. 森林・林業再生に向けた貢献

(2) 優良種苗による更新及び苗木安定供給

北海道とも連携し、カラマツに加えトドマツ採種園において、着花促進処理（環状剥皮）や路網整備等の取組を進めます。また、国有林が必要とするコンテナ苗の品質・規格の標準化や苗木の需要見通し等についての情報提供に努め、苗木生産事業者等との連携を強化します。



受光伐前の着花促進（環状剥皮）



路網整備（路体）



← 「コスト抑制を目指した夏季節植栽でのコンテナ苗の活用」現地検討会を開催（石狩署）。苗木生産者や民有林関係者等とコンテナ苗夏季植栽の現地において意見交換を実施

→ 北海道に適したコンテナ苗活用方法確立に向けた「27年度コンテナ苗植栽事業結果報告会」を開催。効率的な植付方法、梱包方法等について意見交換を実施。



(3) 路網整備

林道工事の早期事業発注、円滑な事業実行により、森林整備の着実な推進を図ります。

また、林道施設（橋梁等）の長寿命化に向け、北海道と連携し、現地検討会の実施やチェックシートの作成などに取り組みます。

更に、森林土木工事において、若手技術者・女性技術者等配置型工事の試行工事件数の拡大を図ります。



林業専用道による間伐の実施（美瑛町）

2. 森林・林業再生に向けた貢献

(4) 国有林材の安定供給、木材利用の拡大

木質バイオマス発電や地域熱利用への貢献、地域の農林水産業への寄与、道産材の付加価値向上、TPP対策や地方創生等に重点を置いた、立木及び丸太のシステム販売等に取り組み、国有林材の安定供給を図ります。

また、道内の木材利用状況の把握・分析、関係機関等との情報共有や意見交換等を積極的に行うことにより、需要に応じた供給や木材利用の拡大に取り組みます。



森林管理局主催の検討委員会等を活用しつつ関係機関や関係者との意見交換。



製材等の木材加工施設の調査による原木のユーザーである木材加工事業者の声を聴くとともに建築物の構造見学会等により建築事業者や施主等のエンドユーザーからのニーズ把握。

2. 森林・林業再生に向けた貢献

(5) 民有林支援

北海道と連携して、森林・林業の再生に向けた市町村の取組を支援します。

具体的には、全市町村に設置された市町村森林整備計画実行管理推進チームの活動を通じて、市町村森林整備計画の実行管理の支援等を推進します。

また、後志森林管理署の低コストシステム構築に向けた取組等、優良な取組事例を道内に広く普及する取組を行います。

さらに、森林管理署が実施する現地検討会や研修等について、市町村等にも参加を呼びかけ、自治体職員等の人材育成に取り組めます。



上川南部森林管理署は南富良野町の取組を支援するため、木質バイオマス資源の活用に向けフォワーダの集荷の工程調査、現地検討会を実施。



後志森林管理署では工程管理が容易に出来る低コストシステムを構築。林業関係者へ説明会等を行い地域へ普及を推進。



左：関係機関等で構成される市町村森林整備計画実行管理推進チーム会議の様子（上川中部署）

右：民国の森林情報共有に向けた害虫被害現地勉強会の様子（網走西部森林管理署）